

辺野古移設巡り一騎打ち

# 名護市長選告示 現新、対応分かれる

16日告示され、現職と新顔

知武豐氏(60)自貽公明  
推薦。

したがて「國の裁量を  
取る」と終盤への警告を

明言せず、工事を黙認。国  
の米軍再編交付金を使つた  
子育て支援を実績に掲げ  
る。

沖縄県名護市の市長選が  
16日告示され、現職と新顔  
の2氏が立候補を届け出

た。日本が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の移設先とする辺野古を抱え、岸田文雄政権が現職を推し、玉城デニー知事が新顔を支援。移設計画浮上後7回目の市長選で、移設の是非が最大の焦点だ。投票は23日。

た。大半の工事を進められない政府は対抗措置をとり、今後長期の裁判闘争に発展する可能性がある。

▼3面＝選挙イヤー幕開け  
立候補したのは前市議で

新顔の岸本洋平氏(49)＝立憲民主、共産、れいわ、社民、沖縄社会大衆推薦＝と、再選をめざす現職議員